

# 北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート かわら版

第四十七号

大久保むが事務所  
北九州市八幡西区則松二一九一  
TEL 〇九三一九八〇一六八〇六  
FAX 〇九三一九八〇一六八〇七  
https://www.mugamura.net/  
E-mail yahatanishi@mugamura.net



## 令和3年3月定例会

日頃より温かいご声援を賜り、心より感謝を申し上げます。

また、本年1月31日に行われました北九州市議会議員選挙におきまして、おかげさまで4期目の当選を果たさせていただきました。

地域課題をはじめ、制度の狭間におかれた課題などを解決するため、引き続き現場を第一に皆様の声を政治の場へと届けるため、その役割を果たして参る決意です。

4期目もどうぞよろしくお願致します。

### 政策調査会長に再任

前任期に続き、今期も会派「ハートフル北九州」での政策調査会長の役割を担うことになりました。前任期は新型コロナウイルス感染症対策で、会派から臨時議会へ向けての特別政策要望などを行い、市の政策へと反映させてきました。

今任期は厳しい状況の中での経営を行なっている中小企業や飲食店への支援に向けた意見書を会派として取りまとめ、今議会に提出しました。

また、アフターコロナを見据えた市内経済活性化策と雇用の確保について会派メンバーと力を合わせて具体化し、提案をしていく決意です。

### 会派を代表して 議会運営委員に

今期に入り、2年ぶりに議会運営委員に選任されました。

会派を代表して、他会派との議会のルール、日程、議題などの提案を受け、議会運営を取り仕切るメンバーです。議会の円滑な運営と、活発な議論を進めることができるよう、力を尽くして参ります。

### 経済港湾委員会の委員長に

議会に6つある委員会のうち、本市の経済活動、港湾と空港を所管す



産業経済局は港湾も管轄

る経済港湾委員会の委員長を拝命することとなりました。

コロナ禍で厳しい状態にある本市で経済活動を行うすべての方々と、コロナ後を見据えた経済と市政の反攻勢へ向けて、活発な議論を行い市政の発展への足場を強くすることを考えていきます。

### 4期目最初の議会で 一般質疑に

今議会では史上最多だった昨年を大きく更新し、40人が一般質疑に立つ

という大変熱い議論が展開されました。私たちの会派も11名のうち代表質疑を含めて8名が登壇、予定時間を超えての議論が展開されました。

- ① 技術者の育成について
- ② 若年性認知症の患者と患者を支える家族への支援について
- ③ 副食費の納付のあり方について

#### ●本市企業の技術者育成について

良質な技術者育成に繋がる技能五輪は、国内の青年技能者を対象に、技能競技を通じ努力目標を与え、技能に身近に触れる機会を提供するなど、広く国民に対して技能の重要性

### 会派提出議案

私たちの会派「ハートフル北九州」から政府に対して、新型コロナウイルス感染症で自粛や売り上げの減少が続く厳しい環境の中、「新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けた国民や中小企業・団体などへの追加の経済対策を求める意見書」を提出するため、政調会長として取りまとめました。

- ① 緊急小口資金、総合支援金の拡充、償還開始の据置期間の延長を行うこと。
- ② 飲食店のみならず、それ以外の飲食店や売り上げが減少している中小企業やNPOなどへの持続化給付金の再給付を早期に行うこと。

- ③ 経済的に厳しい方々への特別定額給付金の再給付を行うこと。
- ④ 児童扶養手当の臨時給付を行うこと。
- ⑤ コロナ禍で学業継続が危ぶまれる大学生等への支援を行うこと。

以上の5つの要望からなる意見書を提出しました。

残念ながら自由民主党、自民の会、公明党の3会派の反対により意見書が国へと送られることにはなりませんでしたが、支援の偏りや本当に必要な方達へ支援が届かないことがあってはならないと考え、これからも他会派への理解を得るため意見や発信を続けてまいります。私たちが提出した意見書に対しての本都市議会での賛否は下の通りです。

「新型コロナウイルス感染症により経済的な影響を受けた国民や中小企業・団体などへの追加の経済対策を求める意見書」の各会派の賛否

会派	賛成	反対
ハートフル北九州	賛成	
自由民主党		反対
公明党		反対
自民の会		反対
共産党	賛成	
維新の会	賛成	
変革と成長	賛成	
村上さと子	賛成	
井上慎吾	賛成	



裏面に続く

や必要性をアピールし、技能尊重気運の醸成に資する目的として実施する大会です。大会には機械組み立て、旋盤、時計修理、自動車板金や車体塗装、左官、建築大工、タイル貼り、電子機器組み立て、工場電気設備や情報ネットワークの管理や施工、ウェブデ

← 一般質問の続き

デザイン、理美容、和裁、日本や西洋の料理、洋菓子製造など、合計42種類の競技種目があります。

大会は原則23歳以下の各分野で、日本の頂点を目指す若者たちが全国から集まり、大会に向けてその技術を磨くことはもちろんのこと、地元でこれから技術者を目指す学生にとっても、とても大きな刺激となり、結果としてものづくりのまちと自負する本市の次世代の人材育成の重要な節となることが期待されます。

技能五輪全国大会を地元で開催されることの意義は、ものづくりと技術者を目指す若者や学生たちが、こうした大会を目的の当りにできることにより、理系工業系をはじめ、調理師や職人など、さまざまな技術の習得と向上への興味や大きな刺激を得て、技術者の道を目指すきっかけや目標となる



ことも考えられます。

こうした効果を得て、本市の技術者育成と人材確保のために、技能五輪を本市を中心とした福岡県で誘致・開催をめざして県に働きかけてはどうか、ということを質問いたしました。

### 質疑を振り返って

昨今の人材不足は深刻で、各企業とも人材の確保が難しい状況になっていると聞いています。そんな中で人材を確保することができるとする都市に企業誘致がすすむ傾向があるため、いかに人材を育てたり、集めたりすることができかが重要になってきているとのことでした。

この街にあれば技能者としての腕を磨ける、切磋琢磨する仲間がいる、それが結果としてよりよい製品づくりに繋がり、都市としての価値を高めてより好循環につながると考えます。

技能五輪はその循環を強める一つの手段として、1000年のものづくりの街である本市での開催は大きな意味があると考えます。引き続き誘致について関係各方面への働きかけを行って参ります。

### ● 若年性認知症を抱える家族と、本人への支援について

若年性認知症とは、65歳未満で発症する認知症のことです。2009年の厚生労働省の『若年性認知症の実態と対応の基礎整備に関する研究』によると、全国の若年性認知症の有病者数は、推計3万7750人で、推定発症年齢は51.3歳とのことでした。ただ、違う病気と診断されたり、本人が受容できないなどの要因で実際の若年性認知症の有症者数はおよそ3倍の10万人以上いるとも言われています。

過去の議会では、本市は厚生労働省の推計に基づき、若年性認知症の患者さんは、市内で推計250人程度居るであろうとの見解でしたが、あくまで推計であり、実態は3倍程度いる事を考えると、本市に若年性



認知症と診断はされていないが、その症状をもっている患者さんは750名から1,000名弱はいることが想定されます。

これまでの議会での議論は、若年性認知症患者さんたちが働く場所の確保ができないか、という議論は行われていたが、現実問題としてそうした雇用の確保はとても難しく、最終的には家族が働くなどして家庭の収入を確保せざるを得ないことになりそうです。しかし、見た目が健康とはいえ、若年性認知症を患った患者を家に残し、家族が働きに出る事はとても難しく、支える側は例えば自分が病院に行くときなど、認知症の家族を一人であらにさせることができないため、一緒に病院に連れて行かねばならなかったり、また新型コロナウイルスウィルス感染症などの感染の心配もあるため、そもそも受診自体を諦めたりするなど、こうした場合の支援を求める悲痛な声を聞きます。

介護保険サービスによる認知症対応型通所介護などで預ける事は可能との話も聞きますが、介護施設にきている高齢者と、若年性認知症患者との年齢が大きく違うため、こうした高齢者向けのデイサービスに行ったりしても、継続して行くことが出来ないということも、若年性認知症にも症状に段階が存在しており、その症状によって施設で対応できるだけの体制をもっていないなど、そもそも受け入れてもらうことが困難であることは、以前から指摘されてきました。

働き盛りの年齢で老齢年金などがまだもらえない時期に、若くして認知症になった場合はその患者を預ける施設などが無いため、一方の家族は働くことができず、家計を支える事が本当に厳しい状況があります。そこで、若年性認知症患者を抱える家

族が、例えば病院であったり、仕事で家を留守にする際に、若年性認知症患者を一時的に、または、仕事をしている間預ける事ができる、要介護認定や障害支援区分認定の有無を問わず利用できる、若年患者専門のデイサービスやショートステイの創設について、早急に検討できないか、質問と意見を述べました。

### 質疑を振り返って

本市は認知症に関してはかなり早くから取り組みを始めている都市であります。

一方、若年性認知症に対する認識は最近になって広がってきており、市内でも認知症の家族を支援する団体からも、若年性認知症への理解促進と支援を求める声があがっています。

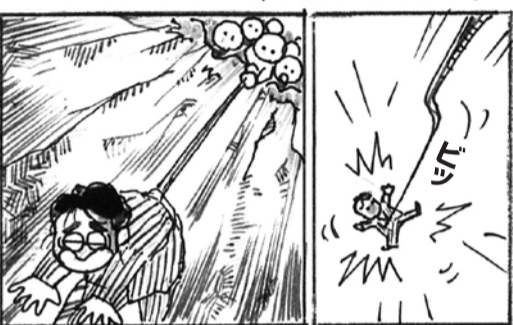
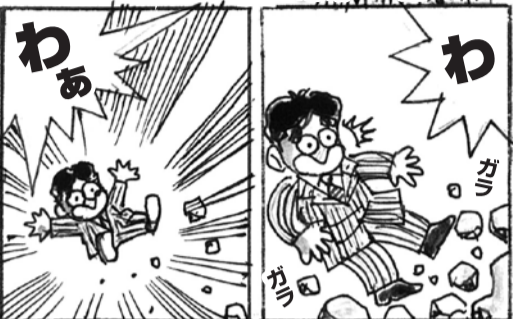
私も含め、いつ誰もが若年性認知症の症状が出る可能性があると考え、本人も家族も支援の手がしっかりと届いている状態を作ることが改めて重要であると感じました。今回の質疑がその取り組みを次の段階へ引き上げる、そのきっかけになればと思っております。

### キタQに

連載 第42回

# 総我夢中!!

## 「選挙と新たな決意」の巻



厳しい選挙の中で4期目を迎えることができました。今回の結果は「生まれ変わった気持ちで頑張れ」という有権者の皆さんからのメッセージと受けとめています。



心機一転 初めに戻って1期目に通じた。いただいた時の気持ちを今一度思い起こしてこれから頑張ります!

### 大久保むが今号の1枚

ホームレス支援をしている抱撲さんの炊き出しボランティアに参加してきました。

